

2018年3月期 決算説明会

第2四半期

2017年11月10日

『決算説明』

代表取締役社長
鈴木 吉憲

- ◆ 7月 コーポレート・ブランドロゴ 変更
- ◆ 9月 非接触電力伝送技術でWiTricity Corp社（米）と技術提携

【ブランドロゴ変更】

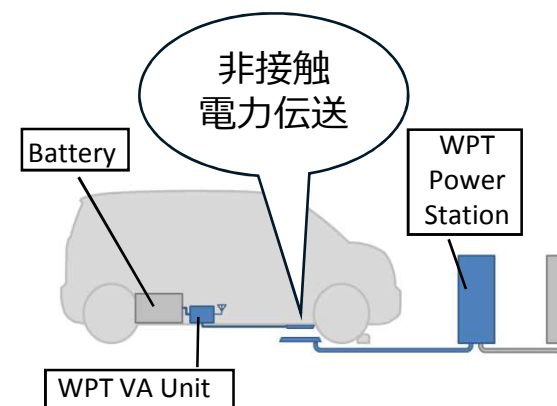
ShinDengen /
New power. Your power.



 **新電元**
SHINDENGEN

【技術提携】

 **WiTricity**[®]
Powering life, wirelessly.



上期連結業績

単位：億円（億円未満四捨五入）

	2017年3月期 第2四半期 実績	2018年3月期 第2四半期 (期初計画値)	2018年3月期 第2四半期 実績	前年同期比 (%)	期初計画比 (%)
売上高	437	426	441	0.8	3.4
営業利益	13	8	41	208.8	409.1
経常利益	6	11	44	619.9	305.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5	8	36	643.2	325.6
営業利益率	3.0%	1.9%	9.3%	—	—
R O E	1.8%	3.0%	12.6%	—	—

- ◆デバイス事業・電装事業が、好調に推移
- ◆新エネルギー事業は、引き続き厳しい状況
- ◆その他セグメントで、商流変更に伴う減収影響あり

* 2018年3月期より在外子会社における収益及び費用の円貨換算を、期末日レートから期中平均レートに変更しており、2017年3月期においても遡及適用後の数値を記載しております。

上期連結業績

単位：億円（億円未満四捨五入）

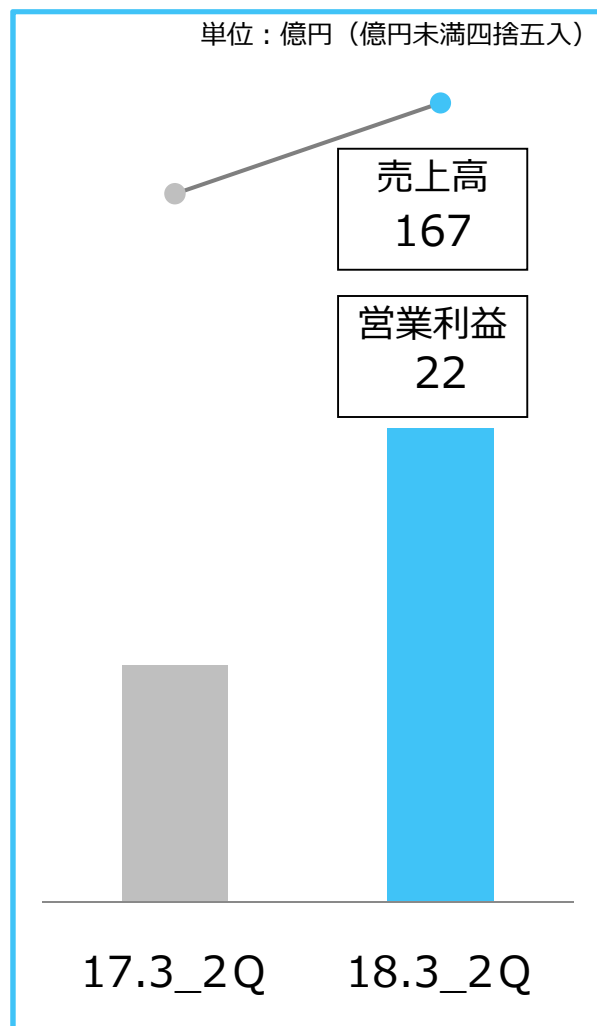
	2017年3月期 第2四半期 実績	2018年3月期 第2四半期 (期初計画値)	2018年3月期 第2四半期 実績
換算為替レート（\$）	113.05	106.00	112.75
平均為替レート（\$）	107.20	106.00	111.19
設備投資	23	40	22
減価償却費	23	24	21
研究開発費	25	30	26

- ◆為替は、想定レートより円安水準で安定的に推移
- ◆設備投資は、市況や顧客動向にくわえ、調達リードタイム長期化など様々な要因により上期実績は前年同期並み
- ◆研究開発費は、顧客との仕様整合遅れなどにより変動

* 2018年3月期より在外子会社における収益及び費用の円貨換算を、期末日レートから期中平均レートに変更しており、2017年3月期においても遡及適用後の数値を記載しております。

上期連結業績（セグメント別）

デバイス事業



【2018年3月期上期実績】

売上高 167 億円(前年同期比12.9%増)

営業利益 22 億円(前年同期比97.1%増)

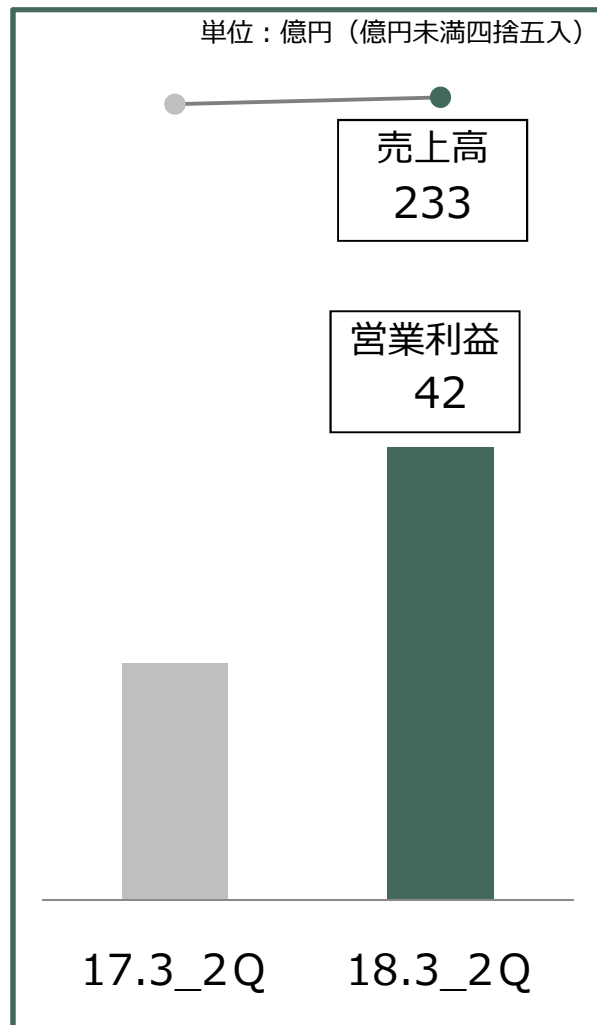
topics

- ✓ 白物家電・車載・産業機器向け受注好調
- ✓ 設備の調達期間の長期化などで、増産体制構築に影響
- ✓ 増収および増産効果などにより増益

*セグメント間の取引については、相殺消去して記載してあります。

上期連結業績（セグメント別）

電装事業



【2018年3月期上期実績】

売上高 233 億円(前年同期比1.2%増)

営業利益 42 億円(前年同期比89.2%増)

topics

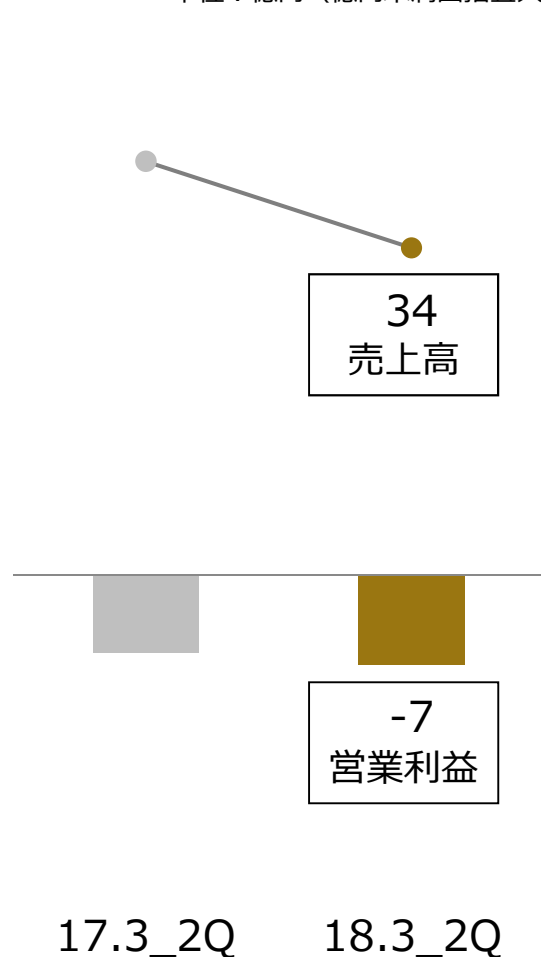
- ✓ 特殊要因による減収を二輪車市場の伸長でカバー
(ベトナム・インド好調、インドネシアでは市場が伸び悩むなか、ECU堅調で前期並み確保)

*セグメント間の取引については、相殺消去して記載してあります。

上期連結業績（セグメント別）

新エネルギー事業

単位：億円（億円未満四捨五入）



【2018年3月期上期実績】

売上高 34 億円(前年同期比20.9%減)

営業損失 7 億円(前年同期は6 億円の損失)

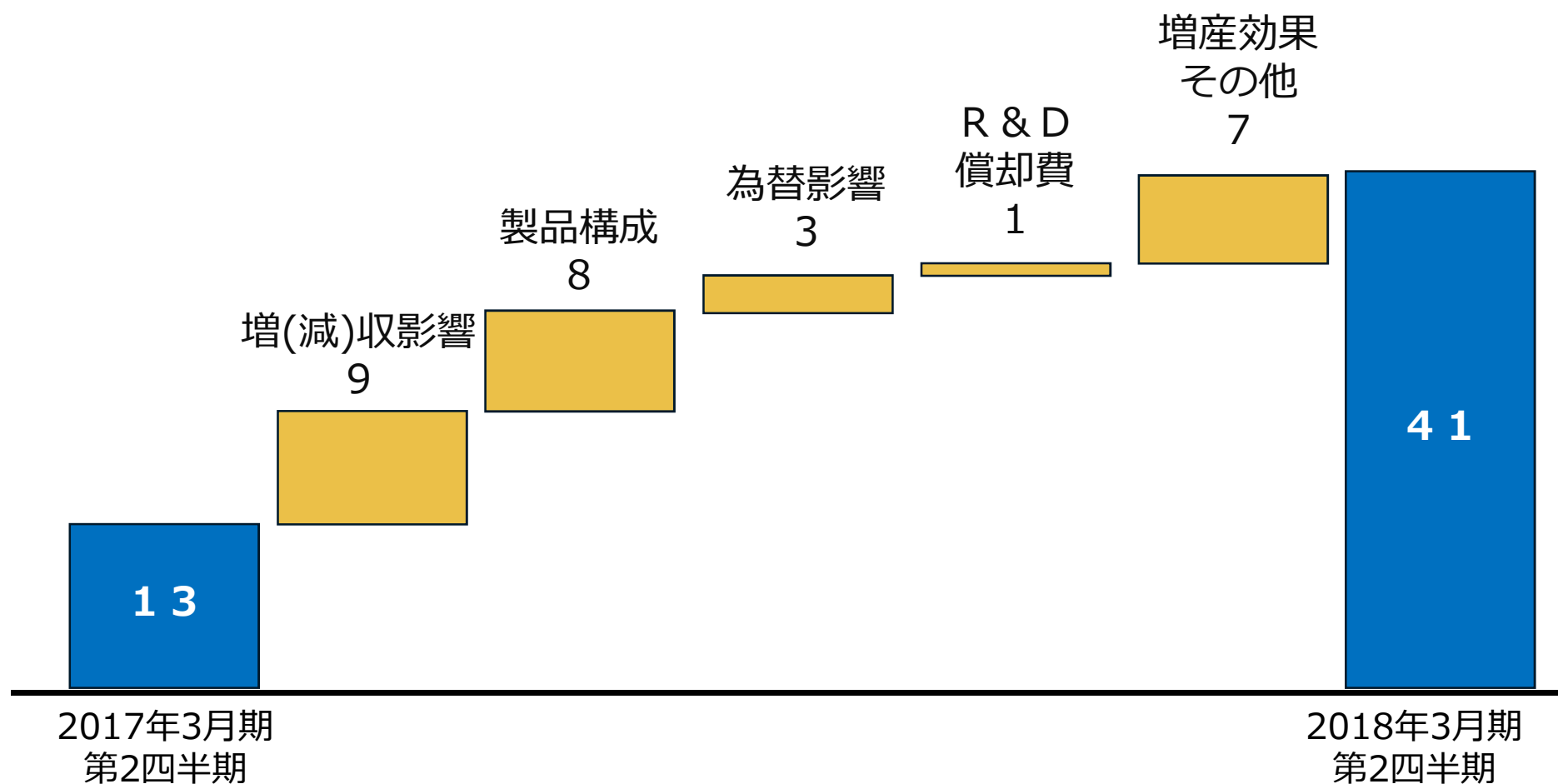
topics

- ✓ 太陽光発電市場は、競争激化と市場低迷で苦戦
- ✓ 通信市場は、設備更新の立ち上がり遅れにより弱含み
- ✓ 構造改革に取り組むものの、減収により赤字拡大

*セグメント間の取引については、相殺消去して記載してあります。

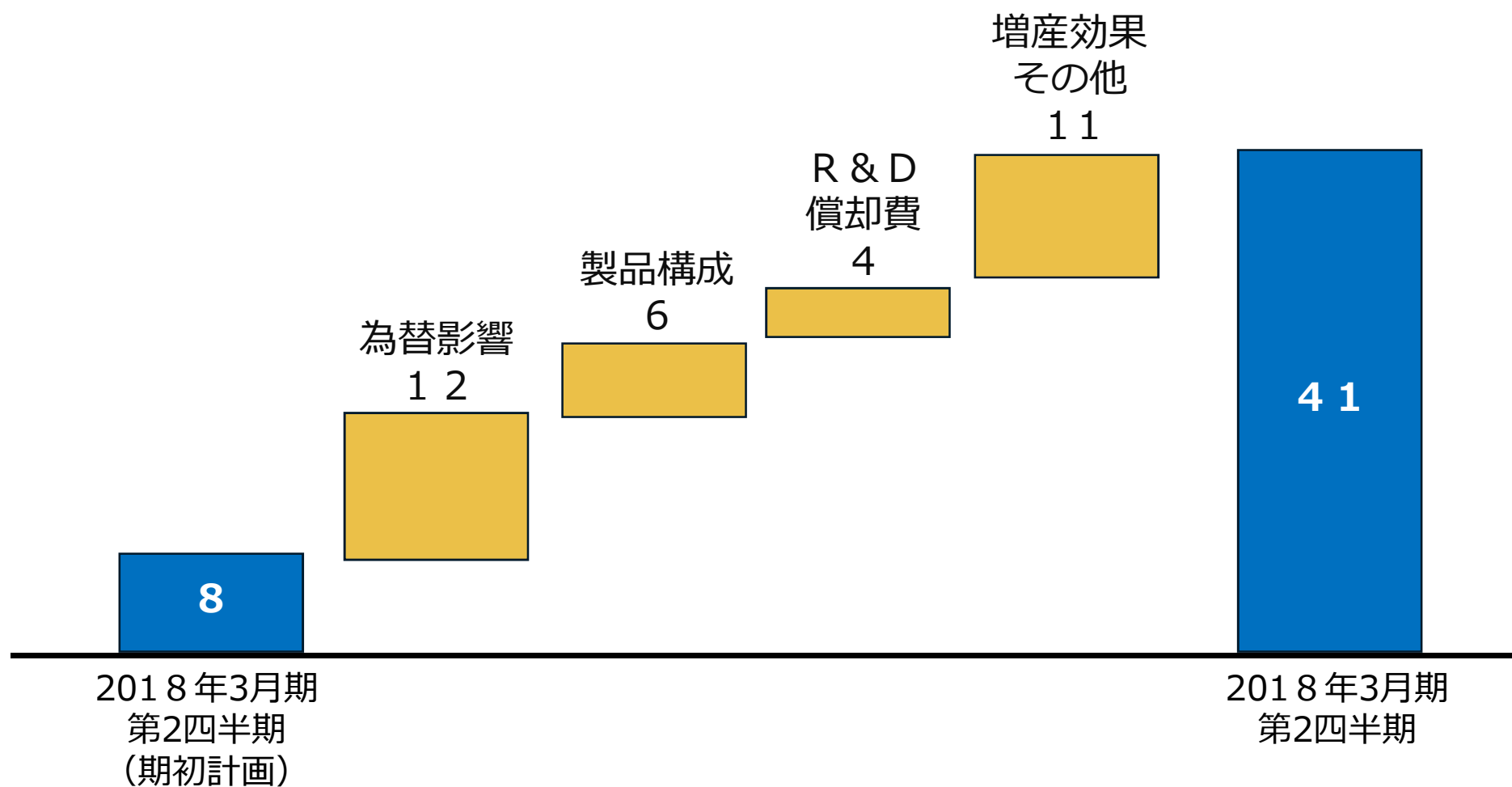
営業利益の増減（前年同期比）

単位：億円（億円未満四捨五入）



営業利益の増減（計画比）

単位：億円（億円未満四捨五入）



経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益

単位：百万円（百万円未満切り捨て）

	2017年3月期 第2四半期 実績	2018年3月期実績 第2四半期 実績	増減
営業利益	1,331	4,113	2,781
営業外収益	488	551	63
営業外費用	1,214	309	▲ 905
経常利益	604	4,355	3,750
特別利益	0	0	0
特別損失	0	0	0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	478	3,553	3,075

- ◆ 為替差損 782百万円減少
- ◆ 金融収支 84百万円改善

* 2018年3月期より在外子会社における収益及び費用の円貨換算を、期末日レートから期中平均レートに変更しており、2017年3月期においても遡及適用後の数値を記載しております。

連結貸借対照表

単位：百万円（百万円未満切り捨て）

	2017年3月期	2018年3月期 第2四半期	前期比 (%)
流動資産	81,192	83,073	2.3
固定資産	47,338	47,547	0.4
資産 合計	128,530	130,620	1.6
流動負債	28,195	27,798	▲ 1.4
固定負債	46,330	46,366	0.1
負債 合計	74,526	74,164	▲ 0.5
株主資本	54,529	56,793	4.2
その他の 包括利益累計額	▲ 524	▲ 337	—
純資産 合計	54,004	56,455	4.5
総資産	128,530	130,620	1.6
自己資本比率	42.0%	43.2%	—

* 2018年3月期より在外子会社における収益及び費用の円貨換算を、期末日レートから期中平均レートに変更しており、2017年3月期においても遡及適用後の数値を記載しております。

通期連結業績（予想）

単位：億円（億円未満四捨五入）

	2017年3月期 実績	2018年3月期 (期初計画値)	上期実績	下期予想	2018年3月期 (11/6修正値)	前期比 (%)	期初計画比 (%)
売上高	904	895	441	469	910	0.6	1.7
営業利益	51	32	41	24	65	27.4	103.1
経常利益	46	35	44	23	67	45.5	91.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	34	26	36	18	54	59.3	107.7
営業利益率	5.6%	3.6%	9.3%	5.1%	7.1%	—	—
R O E	6.7%	4.7%	12.6%	—	9.5%	—	—

- ◆デバイス事業・電装事業は、引き続き好調を見込む
- ◆新エネルギー事業は、下期から持ち直しを見込む一方で、計画対比では弱含み
- ◆投資費用の増加や為替の前提差などにより、利益率は低下
(上期実績レートと下期想定レートのギャップ)

* 2018年3月期より在外子会社における収益及び費用の円貨換算を、期末日レートから期中平均レートに変更しており、2017年3月期においても遡及適用後の数値を記載しております。

通期連結業績（予想）

単位：億円（億円未満四捨五入）

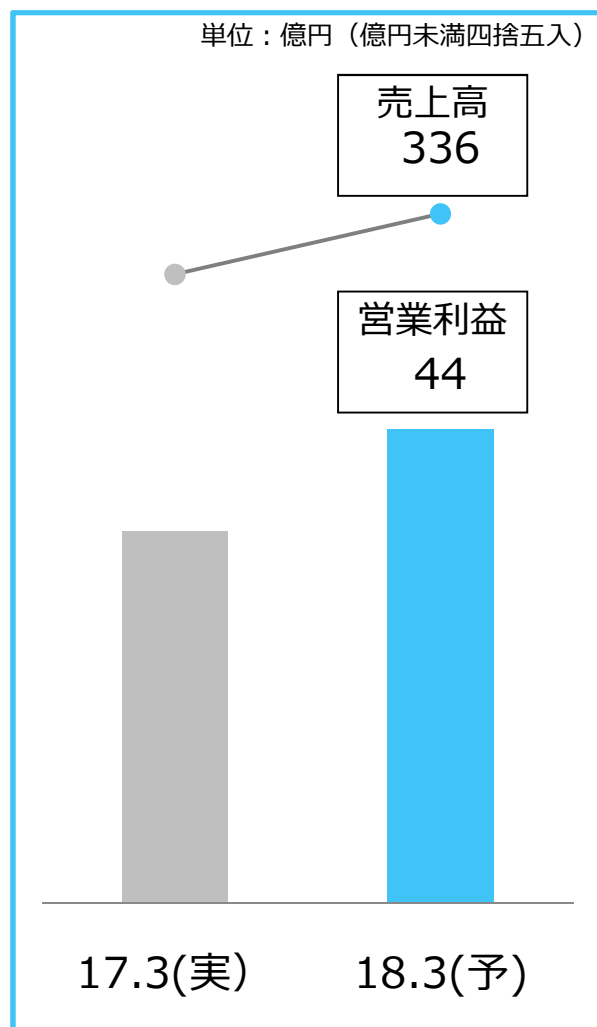
	2017年3月期 実績	2018年3月期 (期初計画値)	上期実績	下期予想	2018年3月期 (11/6修正値)
換算為替レート（\$）	110.30	106.00	112.75	106.00	106.00
設備投資	41	83	22	45	67
減価償却費	48	55	21	31	52
研究開発費	50	57	26	28	54

- ◆下期の換算レートは、1\$ = 106円で想定
- ◆設備投資は、デバイス事業を中心に今後の実施計画を多数控える一方で、上期期実績を踏まえ、通期としては予想を引き下げ。
- ◆研究開発費は、期初計画並みの水準を見込む。

* 2018年3月期より在外子会社における収益及び費用の円貨換算を、期末日レートから期中平均レートに変更しており、2017年3月期においても遡及適用後の数値を記載しております。

通期連結業績 (セグメント別予想)

デバイス事業



【2018年3月期予想】

売上高 336 億円(前期比9.6%増)

営業利益 44 億円(前期比27.5%増)

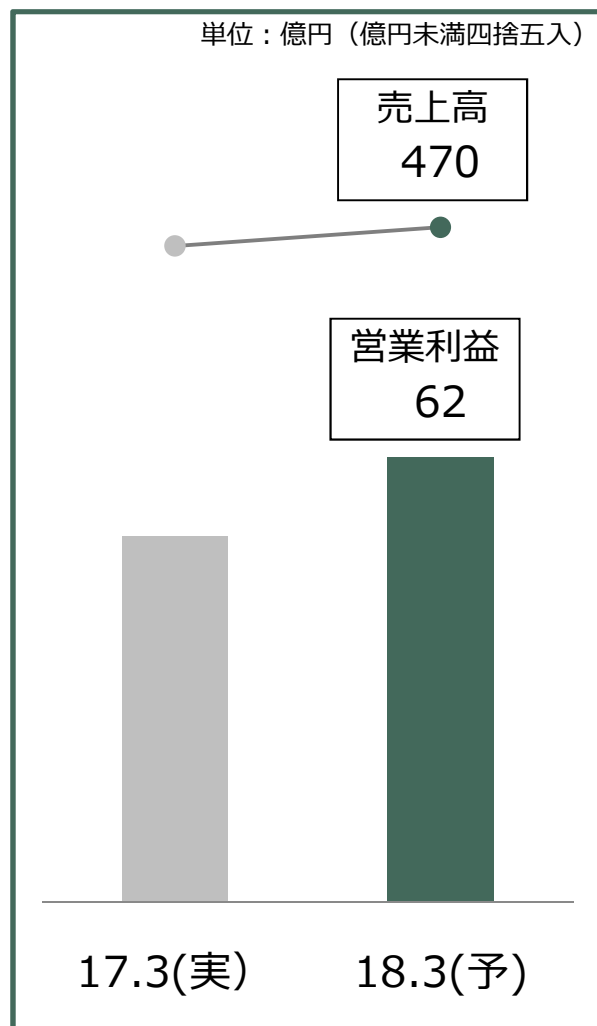
見通しと取組

- ✓ 白物家電・車載・産業機器向けを中心に好調継続
- ✓ 安定供給を行うための増産体制強化
- ✓ 海外拠点で、パワーモジュール生産立ち上げ

*セグメント間の取引については、相殺消去して記載してあります。

通期連結業績（セグメント別予想）

電装事業



【2018年3月期予想】

売上高 470 億円(前期比2.8%増)

営業利益 62 億円(前期比21.6%増)

見通しと取組

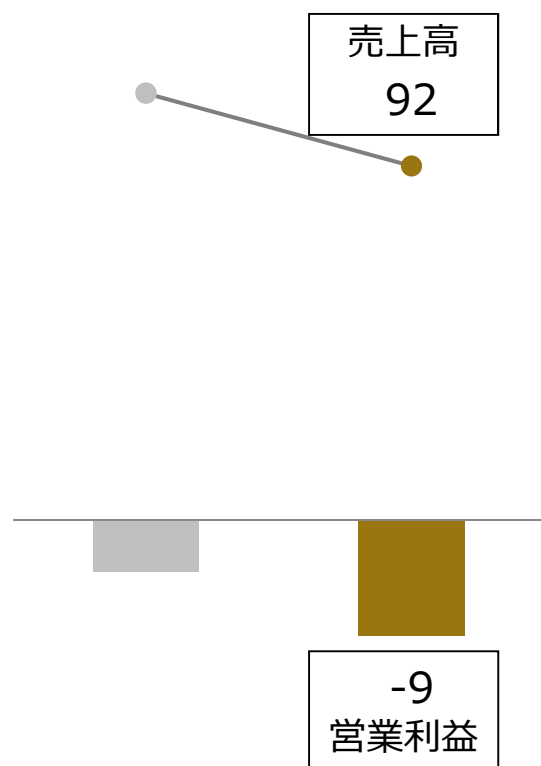
- ✓ 伸び悩むインドネシア二輪車市場で回復の兆し
- ✓ インド、ベトナムは引き続き好調
- ✓ インド市場、さらなる拡販

*セグメント間の取引については、相殺消去して記載してあります。

通期連結業績（セグメント別予想）

新エネルギー事業

単位：億円（億円未満四捨五入）



【2018年3月期予想】

売上高 92 億円(前年同期比17.0%減)

営業損失 9 億円(前年同期は4 億円の損失)

見通しと取組

- ✓ 太陽光発電市場は、引き続き厳しい状況
- ✓ 通信市場は、設備更新の需要が回復傾向
- ✓ 構造改革、新製品・サービス拡充

*セグメント間の取引については、相殺消去して記載してあります。

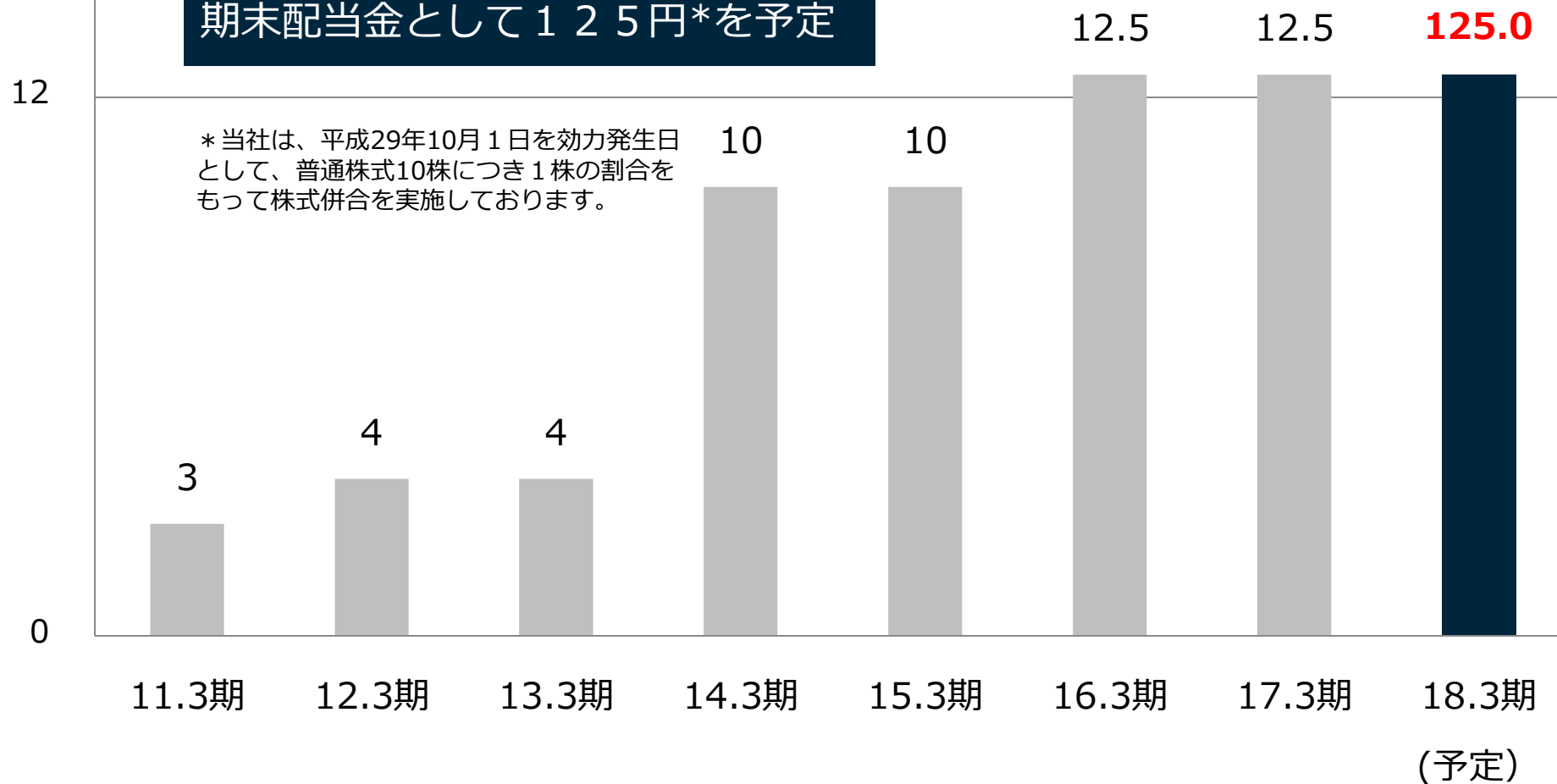
配当予想

配当金総額
[単位：億円]

1株当たり配当金予想（年間）

2018年3月期

期末配当金として125円*を予定



本資料に記載した将来に関する見通しは、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確実な要素を含んでおります。

従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより記載の見通しとはことなる結果をなる可能性があります。

ご清聴ありがとうございました。